

少人数教育の充実に向けた取組

【県中教育事務所】

| | |
|--------|------------|
| 学 校 名 | 須賀川市立第二小学校 |
| 学年・教科等 | 第6学年・理科 |

一人一人に科学的な見方や考え方を身に付けさせるために

取組の内容

- ① 個別指導
 - ・ 一人（または二人）1 実験を基本に教材・教具を準備して、個別に追究する場を保障する。
 - ・ 授業の終わりに学習日記を書かせることにより、本時を振り返らせ、次時につなげる。
- ② グループ指導
 - ・ 実験・観察の結果をグループ内で比較させたり、実験・観察のポイントを共有させたりする場の設定をする。
- ③ 繰り返し指導
 - ・ 実験・観察において、結果をノートに表やグラフで整理し、そこから考えたことをメモする習慣を付けさせる。
 - ・ 単元学習の中に定着確認シートを位置付けて、学習内容の定着を図る。
- ④ 児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習
 - ・ 日常生活と学習内容を結び付け、課題作りやまとめに意欲的に取り組めるようにする。
- ⑤ 教師間の協力的な指導
 - ・ 教科担任制として、3クラスを同じ教師が受けもつことにより、理科学習における学び方を統一したり、教材・教具の共有をして効率化を図ったりする。

成果と課題

- ① 個別指導
 - ・ 個別に実験・観察の体験を保障することにより、器具の操作技能の向上、実感を伴う理解を得られることができた。
 - ・ 学習日記から児童の興味・関心度や学習理解度の把握をするとともに次時における意図的指名や個別指導に役立てたり、教師の朱書きを加えて返すことにより、児童の学習意欲の喚起を図ることができた。
- ② グループ指導
 - ・ グループ内で互いの実験や観察の様子を見合うことにより、自分の取組の参考にすることができた。他のグループとの情報交換の場についても取り組んでいきたい。
- ③ 繰り返し指導
 - ・ 実験・観察によって調べた事象について、定量的に分析したり、比較したり、因果関係をとらえたり、条件制御して類推したりして考える授業を繰り返すことにより、根拠を明らかにした科学的な見方や考え方に基づく発言が増えてきた。さらに、ノートやレポートに分かりやすくまとめる活動についても進めていきたい。
 - ・ 定着確認シートの活用により、学習内容の定着と教師の指導の在り方について振り返ることができた。
- ④ 児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習
 - ・ 日常生活との関連を意識して授業を進めてきたことにより、児童がテレビや新聞等で得られた情報を元にした発言が増えてきた。さらに、学んだことを応用すると将来どのような事が実現可能であるかについて考える場を設定していきたい。
- ⑤ 教師間の協力的な指導
 - ・ 学年全員の児童を指導することにより、自然事象に対する見方や考え方などをそろえることができた。担任同士の情報共有はもちろん、学習内容・学び方等、中学校への引き継ぎを確実にしてスムーズな移行ができるようにしていきたい。